

NHK

月刊みなさまの声 2023年9月



<目次>

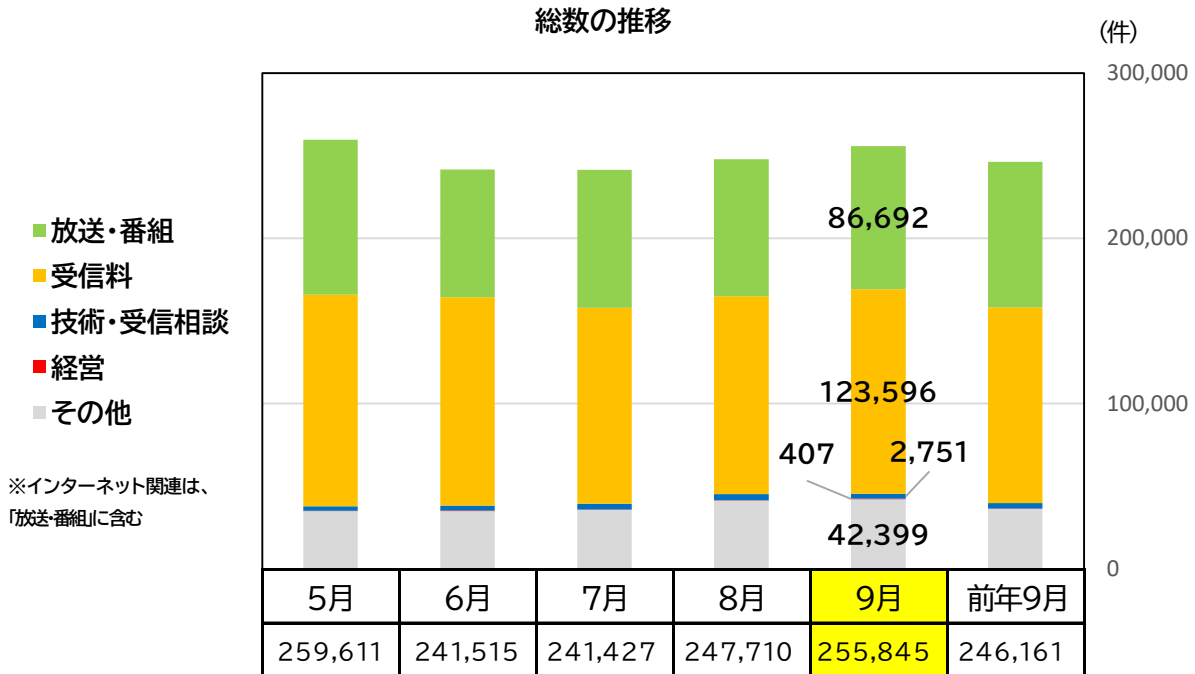
1. 視聴者の声の総数と内訳	2
2. 放送・番組への声	3
3. インターネット業務への声	6
4. 受信料への声	7
5. 技術・受信相談への声	7
6. 経営への声	8
7. 反響が多かった番組から	9

視聴者局

1. 視聴者の声の総数と内訳

■総数の推移と内訳

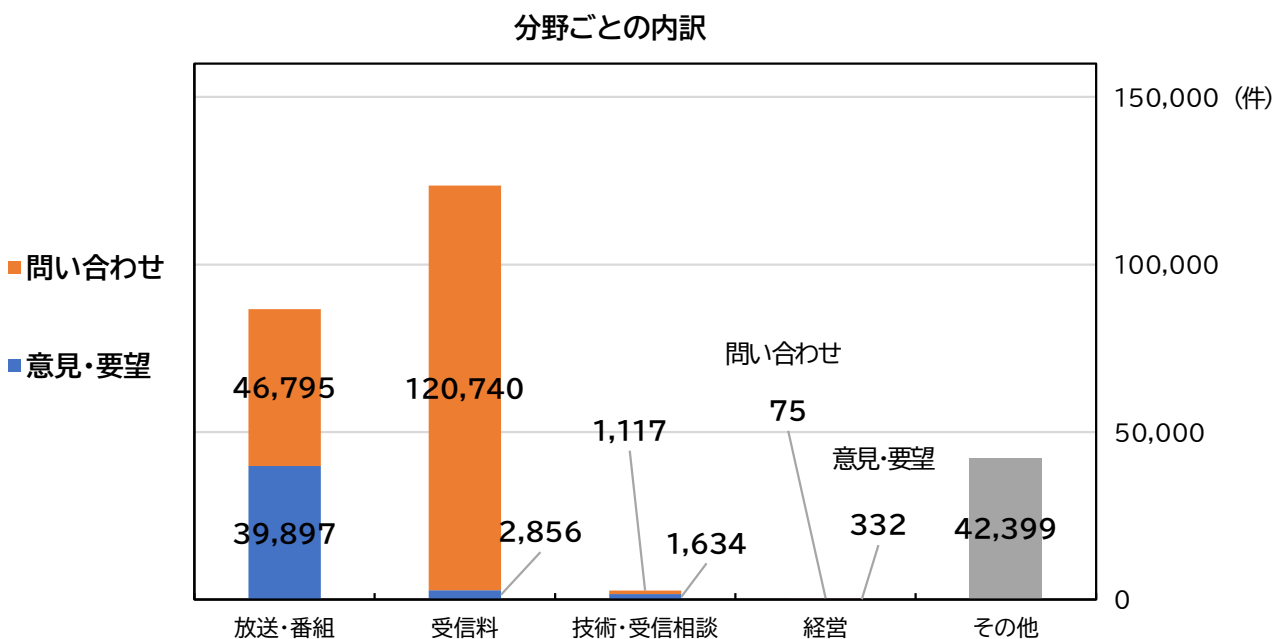
9月にNHKに寄せられた視聴者の声の総数は255,845件で、前月8月と比べ8,135件増加し、前年同月からは9,684件多くなりました。分野別の内訳では、「受信料」に関するものが123,596件(対前月比4,031件増加)で最も多く、次いで「放送・番組」が86,692件(対前月比3,926件増加)となっています。



■分野ごとの内訳

「放送・番組」への声のうち、放送日や出演者に関する「問い合わせ」は46,795件で54%、番組内容や演出などに関する「意見・要望」が39,897件で46%でした。また、「受信料」への声は、98%が料金や手続きに関する「問い合わせ」で120,740件、「意見・要望」は2%にあたる2,856件でした。

いただいた「問い合わせ」や「意見・要望」には、あらかじめ準備した資料などをもとに、ふれあいセンターをはじめとする受付窓口で回答したほか、内容によっては営業や番組制作など、担当部局と連携して対応を完了しています。



2. 放送・番組への声

「放送・番組」について寄せられた「意見・要望」は39,897件で、好評意見がおよそ3割、厳しい意見はおよそ7割でした。

	7月	8月	9月	2022年度平均
好評意見	36.9%	32.0%	32.6%	30.5%
厳しい意見	63.1%	68.0%	67.4%	69.5%

厳しい意見の中には、表記の誤りや誤読などをご指摘いただいたものもあり、放送関連では77件(前月82件)、ホームページ関連では39件(前月43件)でした。制作担当者伝えて再放送などで修正したほか、番組の責任者らが出席する各種会議などでも情報を共有し、注意を促しました。

みなさまからの声に応じて、「家族のあり方」や「性の多様性」について、子どもたちにも分かりやすく知ってもらおうと取り組んでいるEテレのアニメ番組をご紹介します。

■「アニメ はなかつぱ」 多様な価値観を伝える



月曜から金曜まで、毎朝、Eテレで放送している「アニメ はなかつぱ」。やまびこ村に暮らし、頭に花が咲いているかつぱの男の子を主人公に、家族や友達とのにぎやかな日常を描いた物語です。

14年間続いている人気番組ですが、時代の変化に伴い、家族の描き方や性別を巡る表現についてさまざまなご意見が寄せられるようになりました。

【視聴者から寄せられた声】

- ・ 登場する子育て家庭が全て、父親が外で働き、母親が家で家事育児をする昭和のような表現が気になっている。今の子どもが大人になる頃には、ますます共働きが増え、性別だけにとらわれない、家庭内の役割分担が必要になると思われる。毎朝みる番組だからこそ、子どもの意識に影響があると思うので、ぜひ多様な家族観が描かれる番組をお願いしたい。(30代女性)
- ・ 子どもたちはお気に入りの番組だが、同じ生き物でしか結婚や付き合いをしていないので、寂しくなる。違う種類どうしで子どもが出来たり、養子だったりしてもよいと思う。性別や人種は関係なく、恋愛も結婚できるという回をいつか放送してほしい。Eテレが幼稚園、小学生の偏見をなくす一歩になったらうれしい。(40代女性)



こうした声を受けて、番組では性の多様性や新しい家族観を子どもたちに知ってもらおうと、新作づくりに取り組みました。9月に放送したのは、「まだ性別のない人魚・ドリナ」という新しいキャラクターが登場する物語です。

●9月6日放送 新作「ドリナとカラバッチョ」

はなかつぱの友達のカラバッチョは、休暇で別荘に来ている「ドリナ」という人魚と出会います。湖で一緒に泳いだり、空を飛んだりして楽しく遊び、友情を深める2人。



頭から花を咲かせるはなかつぱ



ドリナ(左)とカラバッチョ(右)

ドリナに好意を抱いたカラバッチョは、「特別な友達」になりたいと思い、はなかつぱが咲かせてくれた花束を手渡そうとします。

するとドリナは、「もしかして、私のこと女の子だと思ってる？私たちは、子どものうちは男でも女でもないの」と、打ち明けます。その言葉に驚いたカラバッチョは、花束を渡さずに別れます。



翌日、家族とともに別荘を去り自宅に帰るドリナ。カラバッチョが見送りに来てくれないことをさみしく思っていたところ、花束を持って追いかけてくるカラバッチョの姿が…。そしてドリナに向かって、「男でも女でも何でもなくても、どっちでもいい。俺はお前のことが大好きだから！！」と伝え、花束を投げ渡して見送るというストーリーです。

●性の多様性を子どもたちに伝えるには

一話5分という短い時間の中で、子どもたちにどのようにして「男女という性別のない」キャラクターを分かりやすく伝えるか。アニメの監督や脚本家など、制作スタッフにとっても初めての試みで、何度も打ち合わせを重ねました。さらに人権問題の専門家にも監修を依頼し、セリフなどについて推こみました。例えば、ドリナがカラバッチョに「男でも女でもない」と告げた後のシーン。当初の脚本では、ドリナのせりふは「ごめんなさい」となっていたのですが、「あやまるというのは自分に自信がなく、引け目を感じているようだ」と専門家から指摘があり、「早く帰った方が

いいよ。じゃあね」と自然に話すセリフに変更しました。

また短い時間の中で、LGBTQなど性別を巡る表現について深く説明するのは難しいと判断し、「シンプルに自然に関係を描く」ことで、子どもたちに何かを感じてもらうことを目指しました。このため、通常の脚本づくりの2倍の時間を費やしてようやく完成しました。

ほかにも、主人公のはなかつぱが友達の家を訪れると、女性2人で子育てしている家族だったという物語も制作し放送しています。

NHKの子ども向けアニメ番組の中で、性の多様性や新しい家族観を伝える物語を集中して放送し、SNSなどを中心にさまざまな反響がありました。



【視聴者から寄せられた声】

- ・ ドリナとカラバッチョの話が、とてもよかった。同じ生き物同士、その人であることが大切で、性別は関係ない。小さい頃から社会で伝え、当たり前になっていけば、ジェンダー違和や性別で求められる役割に苦しむ人は減ると思う。大切なテーマをありがとう。(40代女性)
- ・ 今後子どもの身近に、性別にとらわれない人たちが現れるかもしれない。そのような時、きょうのはなかつぱのように自然に察することができたらよいと思う。(X・旧ツイッターの投稿より)
- ・ 「ママ」と「おかあさん」という家庭が描かれて、感動した。しかもおもしろおかしく、描いているわけでもなかった。今までジェンダー感覚とか家族観が古いと思っていたので、このような内容をもっと放送してほしい。(X・旧ツイッターの投稿より)

番組では、今後も主人公たちの家族の中で、男女の役割分担を見直すなど、子どもたちに分かりやすい表現や物語で、多様な価値観を伝えていくことにしています。NHKは公共メディアとして、時代の変化やニーズをとらえながら、未来を担う子どもたちの成長を支えるコンテンツの創造に取り組んでいきます。

■9月 反響の多かった番組

最も多かったのは、ジャニーズ事務所の性加害問題に関して、メディアの責任を検証したクローズアップ現代で、「これからも継続的に検証して報道してほしい」など多くのご意見や感想が寄せられました。また、フランスから生中継したラグビーワールドカップ2023の日本初戦であるチリ戦にも多くの反響がありました。

※集積期間 9月1日～30日



3. インターネット業務への声

インターネット業務に関して、9月の受付件数は16,038件(前月比1,210件減)。このうち88%がNHKプラスに関するもので、「あさいちの不登校特集がとてもよかったので、NHKプラスの見逃し配信を友人に勧めた」「見逃し配信で見た『日本人は農なき国を望むのか』のメッセージを次世代にも伝えたい」といった番組に対する好評意見が寄せられました。

このほか、NHKを名乗る架空の発信元からのメールやダイレクトメッセージについての問い合わせや相談件数は200件を超え、前月の71件から急激に増えました。今後も状況を注視しながら、放送やホームページで注意喚起するなどの対応を進めていきます。

4. 受信料への声

ふれあいセンター(営業)で受け付けた「意見・要望」は2,299件で、前月と同程度でした。

秋の引っ越しシーズンを前に、契約に関する事務手続きについての問い合わせが多いことから、番組などで「住所変更手続きのご案内」を放送し、ウェブサイト「受信料の窓口」での手続きをご案内しました。

また、ウェブサイト「受信料の窓口」の中で、「インボイス制度」についてのよくある質問を掲載するなど、利便性の向上にも努めています。

	事由	件数
送付物	受信契約の手続き・案内に関する送付物について	1,347
	受信料の支払いに関する送付物について	171
諸手続き	契約に関する事務手続きについて	272
	ウェブサイト「受信料の窓口」について	66
スタッフ関係	訪問員の対応・訪問日・訪問時間等について	76
CASメッセージ	BSデジタル放送のメッセージ消去等について	68
受信料制度	受信料制度・不公平感・料金体系について	65
番組サービス	番組内容や出演者について	46
	インターネットサービスについて	9
その他		179
合計		2,299

5. 技術・受信相談への声

ふれあいセンター(受信相談)および各放送局の受信窓口で受け付けた技術・受信相談に関する「意見・要望」や「問い合わせ」は2,293件でした。内訳は、映像が受信できないなどの「受信不良」の申し出が1,738件、「技術相談」は555件でした。BS4K・BS8K放送の受信方法や機器の設置や接続に関する相談が多く寄せられました。

	件数
受信不良	1,738
一次対応	1,078
個別受信設備不良	861
共同受信設備不良	185
雑音障害	16
建造物による受信障害	12
混信・難視聴など	4
二次対応	660
技術相談(受信方法などへの問い合わせ)	555
合計	2,293

※一次対応⇒電話による対応、二次対応⇒訪問による対応

6. 経営への声

NHKの経営に関して、9月は407件の「意見・要望」や「問い合わせ」が寄せられ、前月の180件と比べて2倍以上増加しました。このうち、ふれあいセンター(放送)に届いた声は349件で、最も多かったのは、ジャニー喜多川氏の性加害問題をめぐって、NHKが今後の対応方針について明らかにした記者会見に対するもので、193件でした。これまでのNHKとジャニーズ事務所との関わり方について、「受信料で運営されているNHKだからこそ、きちんと検証を行って国民に説明してほしい」という声が多数届きました。次に多かったのが、報道局の記者が不正な経費請求を行った疑いで第三者委員会を設置して調査を進めることに対するもので53件。「綱紀粛正ガバナンスはどうなっているのか」「再発防止策を徹底してほしい」などの厳しい声が集中しました。

7.反響の多かった番組から

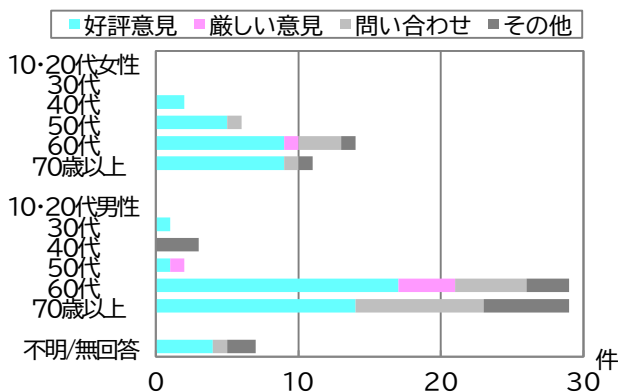
■NHKスペシャル“冤(えん)罪”の深層
 ～警視庁公安部で何が～
 9月24日(日) 総合 後 9:00～9:54



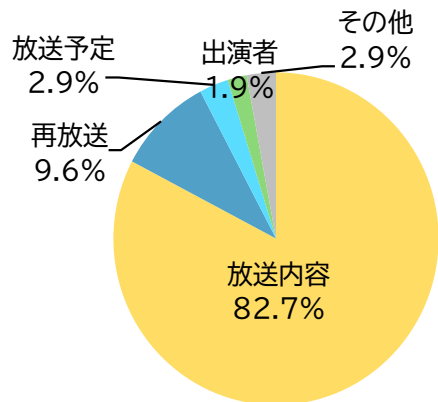
反響104件 ※9月18日～9月25日で集計
 (好評意見63件、厳しい意見6件、
 問い合わせ20件、その他の意見15件)

なぜ“冤罪”は起きたのか。3年前、軍事転用が可能な精密機器を不正に輸出したとして横浜市の中小企業の社長ら3人が逮捕された事件は、長期勾留ののち異例の起訴取り消しとなりました。会社側が国と東京都に賠償を求めている裁判に証人として出廷した現役捜査員は、「まあ、ねつ造ですね」と語り、捜査の問題点を赤裸々に語りました。公安部の中でいったい何が起きていたのか、法廷の証言と独自資料をもとに徹底取材で検証した番組には、取材力や報道姿勢について評価する声が幅広い世代から寄せられました。また判決も含めた続報や今後の調査報道を期待する声も届きました。

●意向種別×年代性別



●受付内容の内訳



【主な内容】

<放送内容への評価>

- ・とても見応えのある番組だった。引き続き権力の監視というメディアの役割を全うしてほしい。記者クラブ経由の情報を垂れ流してガサが入った映像や、逮捕・起訴の情報をそのまま放送するだけでなく、今回のような番組が見たい。警察・検察の暴走により無理やり有罪になっている過去の冤罪が疑われる他の事件についても、調査報道をお願いしたい。(50代男性)
- ・この事件が明るみになってから、気になっていたニュースだった。全てが真実であるなら本当に許しがたい事実。これからも、この事件はニュースなどで取り上げてほしい。もちろん年末の判決が出た後には、第二弾として放送してほしい。これからも公平な立場に立って、国民が知り得ない事柄など、良質なドキュメンタリー番組を放送してもらいたい。(50代女性)
- ・骨のある本当にすばらしい質の高い番組だった。この番組を見て少し希望がもつことができた。(40代女性)
- ・ひき込まれるようにテレビの前から動けず、制作チームの方々の意識、行動に感動した。このような番組を作っただけなら、受信料など喜んで負担する。これからもこのような取り組みを期待している。(60代男性)
- ・スポンサーがいる民放では決して放送出来ない内容だ。本当に感動した。こういう番組を作る事は本当にとても大切だ。(60代男性)

- ・ よくぞ影響力のある大きな番組で取り上げてくださった、という気持ちです。どこの局も取り上げてくれなくてNHKだけが以前クローズアップ現代で放送してくれて、今回も時間のたっぷりあるNHKスペシャルで取り上げてくださって、ありがたい。これを作ってくくださった方にお伝えいただければと思います。(50代女性)

<厳しい声>

- ・ 番組は全て公安部だけの責任のように作られている。当然公安部の責任は大きいですが、検察がしっかり捜査、検証すればこんな冤罪は発生しなかったのではないかと。検察庁の検事についてほとんど触れられていないのはなぜなのか。検察についての第二弾を絶対放送してほしい。(60代男性)
- ・ 番組の中で逮捕起訴され冤罪であった会社関係者は実名で、公安部の警察官の氏名がXやYなど匿名なのが納得できない。公務員は例えば交通事故で人身事故などを起こすと、新聞報道等で実名が公表される。裁判では実名で証人喚問が行われていると思うが、裁判は公開なので実名報道で全く問題がないと思うが、どうなのか？(60代男性)

■【連続テレビ小説】らんまん

4月3日(月)～9月30日(土)

総合 前8:00～8:15、

BSプレミアム・BS4K 前7:30～7:45



反響 8,837件 ※4月3日～2023年10月1日で集計

(好評意見1,109件、厳しい意見1,184件、

問い合わせ5,502件、その他の意見1,132件)

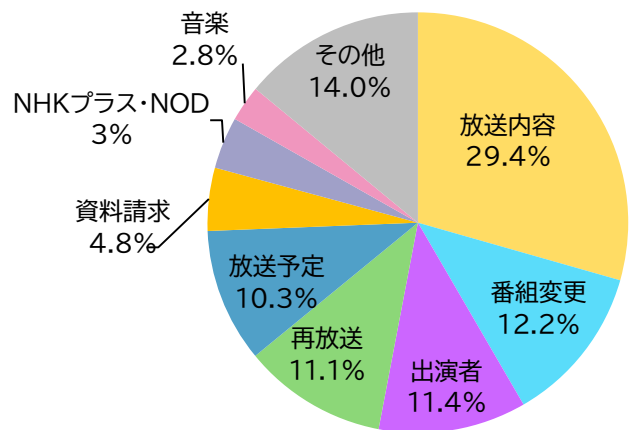
連続テレビ小説第108作は、高知県出身の植物学者・牧野富太郎の人生をモデルとしたオリジナルストーリー。神木隆之介さん演じる主人公榎野万太郎は、植物の魅力にとりつかれ、夢に向かっていちずに突き進んでいきます。独学で植物学をきわめ、新種の植物の発見や植物図鑑の発行など、日本だけでなく、世界の植物学の進歩にも貢献。幕末から明治そして大正、昭和へと激動する時代の渦中で、愛する植物のために情熱的に突き進んだ万太郎と妻・寿恵子の波乱万丈な生涯を描きました。

視聴者のみなさまからは、万太郎が愛した植物を軸に描いたドラマの世界観に共感が寄せられたほか、登場人物の生きざまや心情、時代背景を丁寧に描いた脚本などに好評意見を多数いただきました。

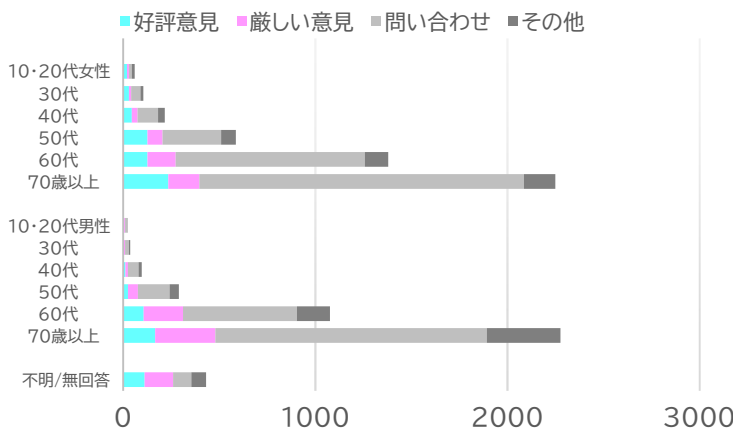
●意向種別



●受付内容の内訳



●意向種別割合×年代別



意向総数は8,837件。そのうち、62%にあたる5,502件が番組に対する問合せでした。最も多かったのは、災害関連の特設ニュースなどによる放送時間の変更に関するものでした。また、NHKプラスやNHKオンデマンドの視聴方法や、「おとしまで放送していたBSプレミアムでの再放送を復活して欲しい」という声も多く寄せられました。

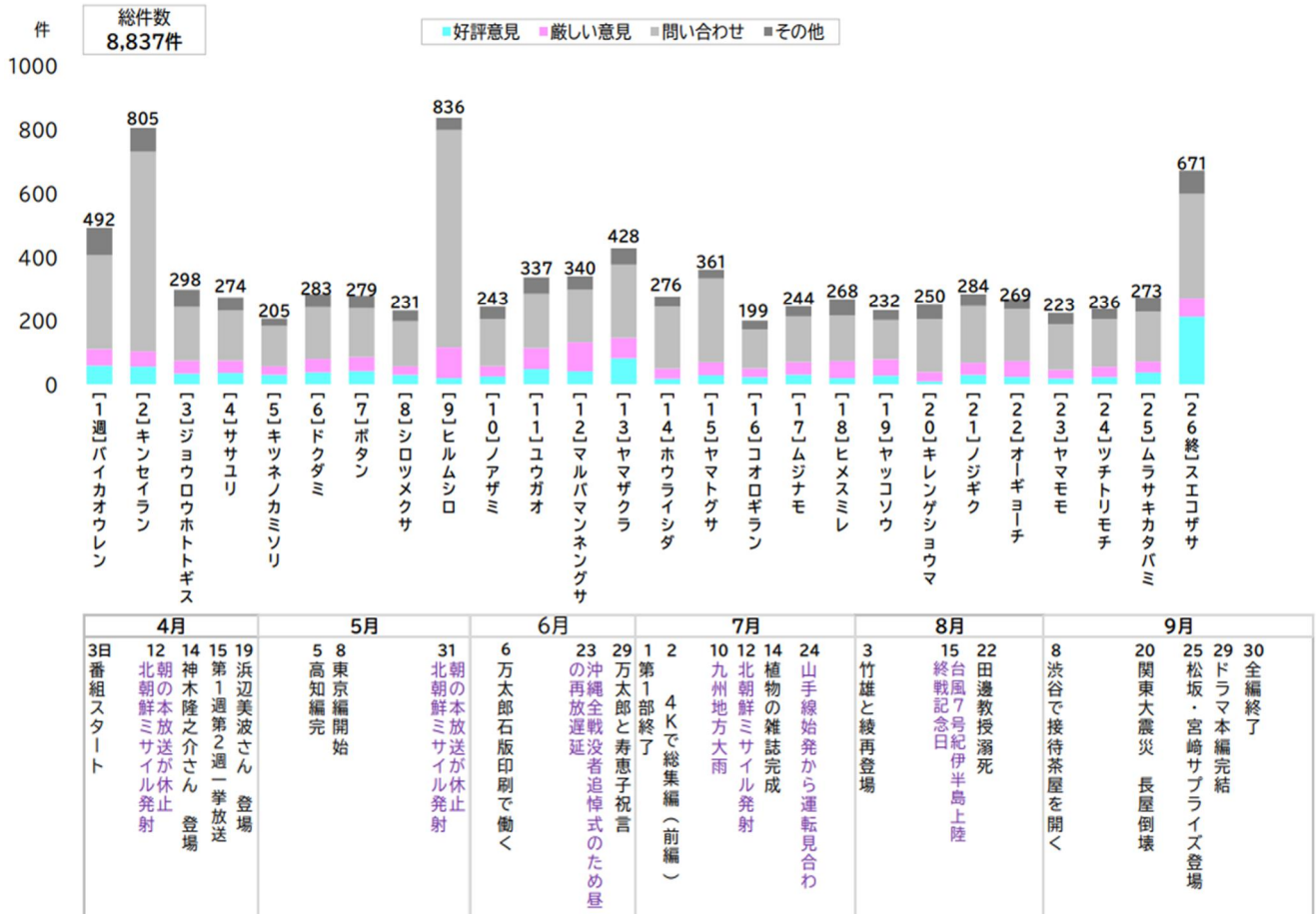
受付内容の内訳(円グラフ)をみると、「放送内容」に関するものが最も多く、29.4%。「時代性と人物の心もよう、両方をすごくイキイキと描いている」「登場人物の心のうちが想像できる」など脚本を評価する声のほか、重量感がある落ち着いたドラマのテンポや、地域のぬくもりを感じる土佐弁にも好評意見が多く寄せられました。

一方、当時の日本社会における男女の役割や価値観に現代とのギャップを感じるという声もありました。

内訳の「出演者」については、主人公を演じる神木隆之介さんやヒロイン・寿恵子役の浜辺美波さんなど俳優の演技力を評価する声や、高知出身者のキャスティングに好評の声をいただきました。一方、一部の出演者のプライベートが話題になったことに対して厳しい声が寄せられました。

「その他」で多かったのは、番組内やホームページで、視聴者や出演者が描いた植物のイラストを紹介する「らんまん植物図鑑」に関する好評意見でした。

●受付件数と意向種別の推移



放送期間中の週ごとの推移を見ると、件数が800件を超えた第2週と第9週は、北朝鮮の弾道ミサイル発射関連の特設ニュースによる本放送休止について問い合わせが集中しました。前半で好評意見が最も多かったのは第13週の「ヤマザクラ」。万太郎が寿恵子と土佐へ帰郷して祝言をあげた週です。2人に対して「夫婦がどう支えあっていくのか楽しみ」といった声のほか、「今後の峰屋や、竹雄と綾の関係がどうなっていくのか」「タキさんとの美しいお別れの脚本に震えました」などの感想が届きました。

最終の第26週「スエコザサ」は、放送期間中で最も多い211件の好評意見が寄せられました。「植物図鑑完成に向けて、1日、1日が涙なくて見られない」といった声や、病になった寿恵子を思いやる万太郎の愛情に共感する声が多く寄せられました。

【主な内容】

○主人公・万太郎の生きざま

- ・ 「自分の好きなこと、得意なことを伸ばしていくということはすばらしい」ということ。大学を目指すのもよい会社に行くこともすばらしいですが、自分の好きなことを続けていくということが大切だというメッセージと受け取りました。(70歳以上女性)
- ・ 万太郎と大学の関係性や、台湾へ行った時も万太郎は国家の意思ではなく、自分の考えを貫いた。ただ支えたわけではなく自立した女性として描いた妻・寿恵子もとてもよかった。(60代男性)
- ・ 上司や国に何を言われようと自分が大事だと思うことをきちんと言う、という主人公万太郎の姿には、何度も励まされた。(60代)
- ・ ストーリーのおもしろさだけでなく、主人公の生き方にも興味を持って作品に引き込まれました。最終回も終わり、「らんまんロス」を感じているところです。(40代女性)

○出演者について

- ・ 音楽と流れる神木君♪の笑顔がとってもホッとして、朝から癒やされます。(50代女性)
- ・ すばらしい演技と曇りのない笑顔で周りをどんどん明るくしてくださる神木さんの演技を朝から本当に和やかに拝見させて頂き、自分自身も今日も1日頑張ろうとたくさん元気感動を分けて頂いております。(30代女性) ※神木隆之介さんの演技についての意見 113件
- ・ 浜辺さんのあの優しい笑顔を拝顔すると、私自身も笑顔、元気、勇気、楽しさを頂き1日のスタートがよい日になるような予感がします。(70歳以上男性)
- ・ 浜辺美波さんは気品があって古風な感じもあり演技もお上手で、とても魅力的な俳優さんだと思います。(50代女性) ※浜辺美波さんの演技についての意見 19件
- ・ 松坂慶子のハチキンぶりは、高知県出身者としては頼もしい限りです。(70歳以上男性)
- ・ 松坂慶子さんや広末涼子さんの演技も引き込まれてしまう魅力があって、ドラマの王道をしっかりといくものになっていると思います。(60代男性) ※松坂慶子さんの演技についての意見 53件
- ・ 竹雄がもうでなくなるのではないかと胸が張り裂けそうなくらい心配になっています。(30代女性) ※志尊淳さんの出演に関する意見 25件
- ・ 三山ひろしさんが仙石屋さんという呉服屋さん役で出演したのが、とても良かったです。着物姿が上品で高知弁がなじんでいて、すばしかったです。(70歳以上女性) ※三山ひろしさんの出演に関する意見 60件
- ・ らんまんの世界観に全くそぐわないお笑い芸人のギャグ。あれがらんまんの中で必要なことだったのでしょうか。ここまでらんまんの世界に没入していましたが一気にさめてしまいました。非常に残念な気持ちでいっぱいです。(50代女性)

○ドラマの世界観の象徴 “植物”について

- ・ 「らんまん」に出会うまでは、道ばたに咲いている花も「きれいだな」くらいは思っていたのですが、草も注目するようになりました。世界が広がりました。(30代女性)
- ・ 道ばたに咲いているような草にもスポットを当ててくださり、もう終わってしまうのか、涙が出るくらい残念。らんまん大好きでした。(70歳以上女性)
- ・ このドラマで、雑草でもそれぞれ個性ある花が咲くというのを見て、改めてどんな花が咲くのか見るようになった。雑草でもかわいい花を咲かせている。(70歳以上男性)

- ・ 目立たない地味な花(ノジギク)がなぜ、兵庫県花になっているのか不思議でしたが、原種のまま咲き続けて今日に至っているのに感動。いとおしくなりました。(70歳以上女性)

○番組の最後で紹介する「らんまん植物図鑑」について

- ・ ドラマと共に植物イラストを見て、植物を覚えようと思っている。(30代女性)
 - ・ 最後にさまざまな植物(花)の写真と視聴者の書いたイラストをドラマとともにとても楽しみにしている。(70歳以上女性)
 - ・ 最後の植物図鑑で私が撮った写真が放映されうれしくなりメールを差し上げたしたいです。孫たちに自慢しようと思っています(笑)。(70歳以上男性)
 - ・ 子どもが「らんまん」が大好きで、ドラマに出てくる言葉を研究のテーマにすることにした。字だけになってしまうので、彩りを添えるために、ホームページに掲載されている写真を使用できたら。(50代男性)
 - ・ 週ごとに花の名が出てきますが、初めて見る花が多いです。例えば、バイカオウレンが梅花黄連だとわかると梅の花に似ているのかなと想像できるので漢字でも表示してもらえないでしょうか。(60代女性)
 - ・ 万太郎が描いたボタンの絵に見とれてしまいました。ぜひあの絵を塗り絵したいなあ。もしこれからもそのような絵が劇中にでてくるのであれば、ぜひ番組ホームページ上に公開していただいてプリントアウトできるようにしていただけたらとてもうれしいです。(60代女性)
 - ・ 最後の花を見るのを楽しみにしている。いつも植物図鑑を用意してきているが花の名前に気を取られてその横の文字まで見きれない。(60代女性)
- ※植物図鑑をもっとじっくり見たいという要望 58件
- ・ 家族が番組の最後に紹介されるイラストに応募したいと言っているが、どうすればよいですか。(50代男性)
- ※植物図鑑への応募方法問い合わせ 26件

○主題歌・音楽・演出・美術について

- ・ 「愛の花」をいつも聞かたびにハートに突き刺さります。否定を提示するのではなく、ひたすら肯定し、愛を信じ続ける応援歌だと感じました。(60代女性)
 - ・ 2月に出産したので、園ちゃん関連はボロボロ泣いて見えています。わが子ですが、主題歌が流れるとニッコリ笑っていることに気づきました。(30代女性)
 - ・ 主題歌が流れている時に、かわいらしいアニメーションが流れる。あまりにもかわいいので、作者を知りたい。絵本がでていたら購入したいと思って。(50代女性)
- ※タイトルバックについての好評意見 40件
- ・ 劇中で使われている音楽がとってもすてきです。セリフを邪魔しない自然にスーと入ってきて、物語とマッチしてすてきです。(60代女性)
 - ・ この場面でこの音楽つけるのか〜と、きのうの暗雲の映像と音、きょうの教授にかぶるクラシックの高鳴り。「うまい！おもしろい」と思いました。(70歳以上女性)
 - ・ 石版印刷の機械がちょうど映っていますが、小道具にも神経が注がれていると感じました。(70歳以上女性)
 - ・ 番組で紹介される植物があまりにも美しく、担当者の方のご苦労がしのべれます。いったいどのように撮影されていたのか、ぜひ特番を組んで伝えてほしい。(70歳以上女性)
 - ・ CGで作成された空は不自然過ぎる。スタジオセットで撮影している事は背景以外でも明らかになるが、残念過ぎる。(60代男性)

○ドラマのパネル展や展示会について

- ・ らんまんのパネルを見せていただいて登場人物と役者さんのことがよくわかりました。(70歳以上女性)
- ・ 高知編のパネルは他の会場へ行ったとのことですが、最終的には高知局に戻して置いてほしいです。高知編びいきの高知人からのリクエストです。(60代女性)
- ・ 神木隆之介さんのファンです。一緒に写真を写すために自分で作った、紙人形と一緒に写真をいっぱい撮りたいです。洋服も(万太郎を)意識しています。(20代女性)
- ・ らんまんミニパネル展、道北オホーツクでやっているのも楽しみに来ました。(40代女性)
- ・ 「らんまん」を彩る「精巧な植物レプリカ」展はどこですか？写真は撮ってもいいですか？(60代女性)
- ・ 放送博物館の牧野富太郎直筆植物画展に行きたい(70歳以上女性)
※パネル展や展示会に関する要望 70件以上
- ・ 朝ドラをきっかけに練馬の牧野記念庭園に行きました。これまで牧野富太郎博士を存じ上げなかったのですが、植物画と図鑑に感動しました(30代女性)
- ・ 「らんまん」の放送を楽しんで見えています。放送内容が良いので高知まで出かけて牧野植物園などを訪問しました。(50代女性)

<厳しい意見>

- ・ 子どもを産むのが嫁の務めであり女性の一番の役目というこの時代の観念を、あえて現在強調して伝えるという制作側の選択を非常に残念に感じました。(50代)
- ・ 寿恵子のセリフで「現八と信乃、尊い！馬琴先生、天才過ぎる～！」とありました。おそらく腐女子であることの演出だったのですが、私はこれを見て不快に感じました。現代のオタク用語を明治時代の人が発言するのは、いくらフィクションでも雰囲気ぶち壊しです。(20代女性)
- ・ 今までの朝ドラは一番大事なところは隠して絶対にネタバレがしないようなツイートだったが、「らんまん」はネタバレが多い。ああ見たくなかったと。オンデマンドで見ている人の気持ちもくんでほしい。(30代女性)
- ・ 平日の帯の連ドラだと金曜日に来週の予告が入るはずなのに、なんで『らんまん』の場合は来週の予告もなく終わるのが分かりません。(20代女性)

○その他

- ・ 竹雄と綾は美しくてきれいで朝からさわやかで幸せな気持ちになれます。綾と竹雄を主人公にしたスピンオフを希望します。(50代女性)
- ・ 放送終了後、レプリカを一堂に会した放送記念展示を高知県立牧野植物園で企画していただくことはできないでしょうか。(60代男性)
- ・ 今まで見てきたドラマで最高だと思う。できれば映画で残してもらいたい。(70歳以上男性)
- ・ 夏休みの植物観察記録や自由研究に地元どんな雑草が生えているか、子どもがスマホで撮影するなど、何か企画があるとよいと思う。(60代女性)
- ・ もう最高です。明日も見たい、来週も見たいと思えるすてきなドラマをありがとうございます！(20代女性)